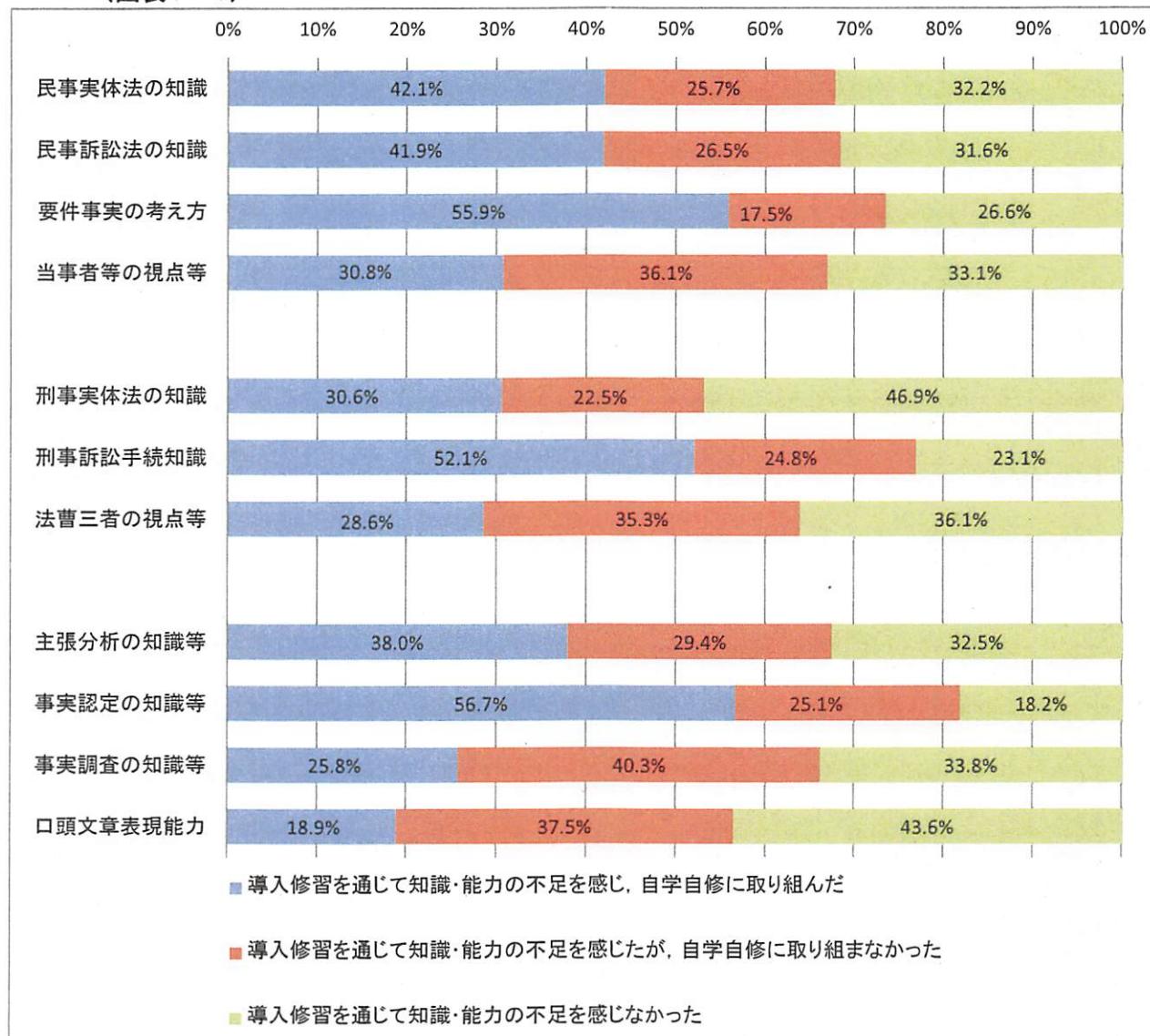


導入修習後の状況等に関するアンケート集計結果

- 第68期の司法修習生に対し、集合修習開始時にアンケート調査を実施した。
司法修習生1756人中1678人が回答(回収率95.6%)。
- 導入修習を通じて知識・能力の不足を感じた者と、分野別実務修習中に自学自修に取り組んだ者の割合

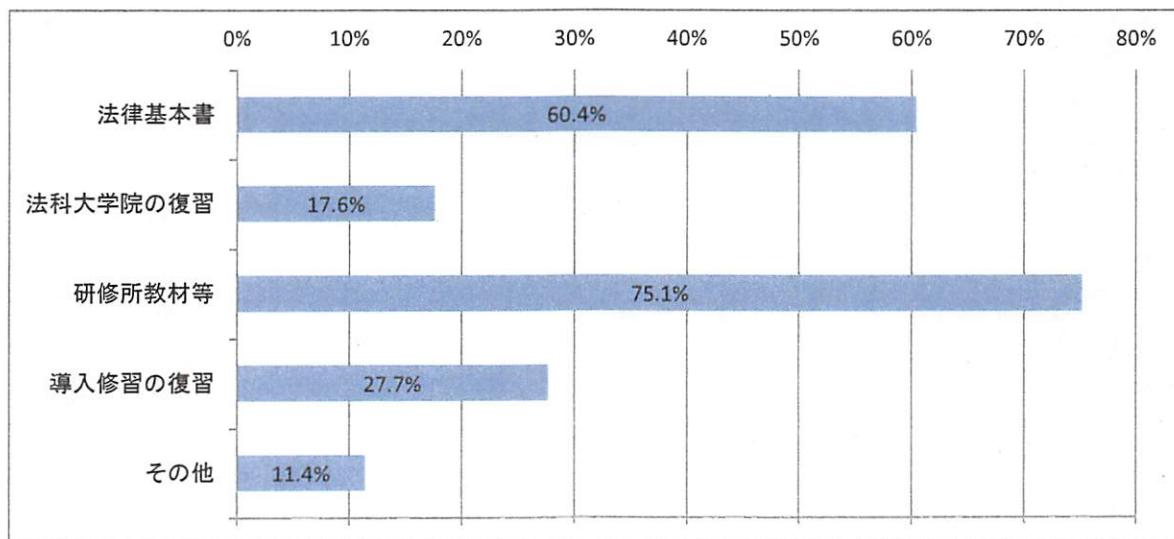
(図表1-1)



○ 自学自修の内容

(図表1-2)

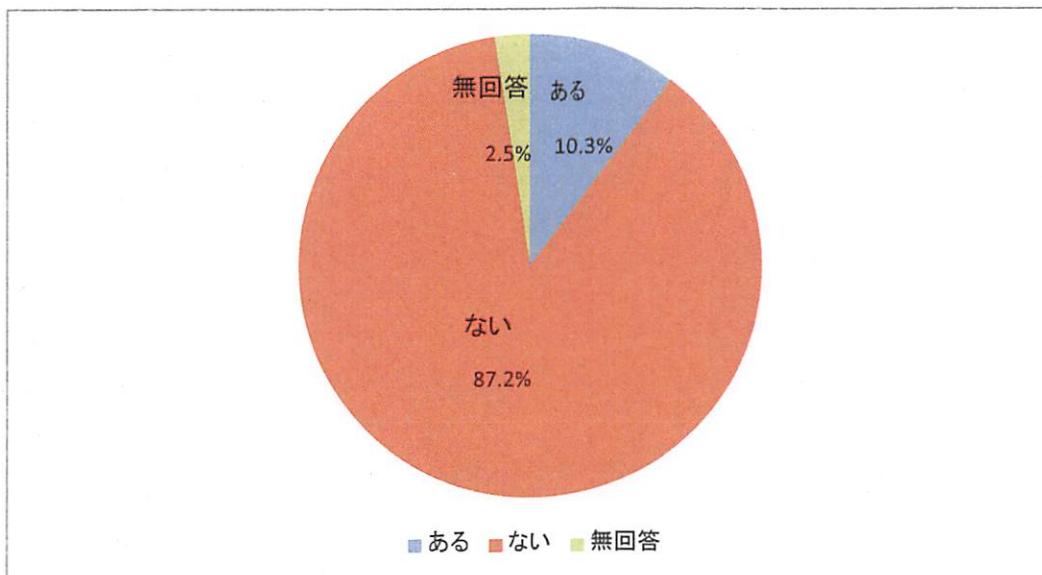
※ 自学自修の内容に係る各選択肢に1項目でもチェックを付けた人数の割合



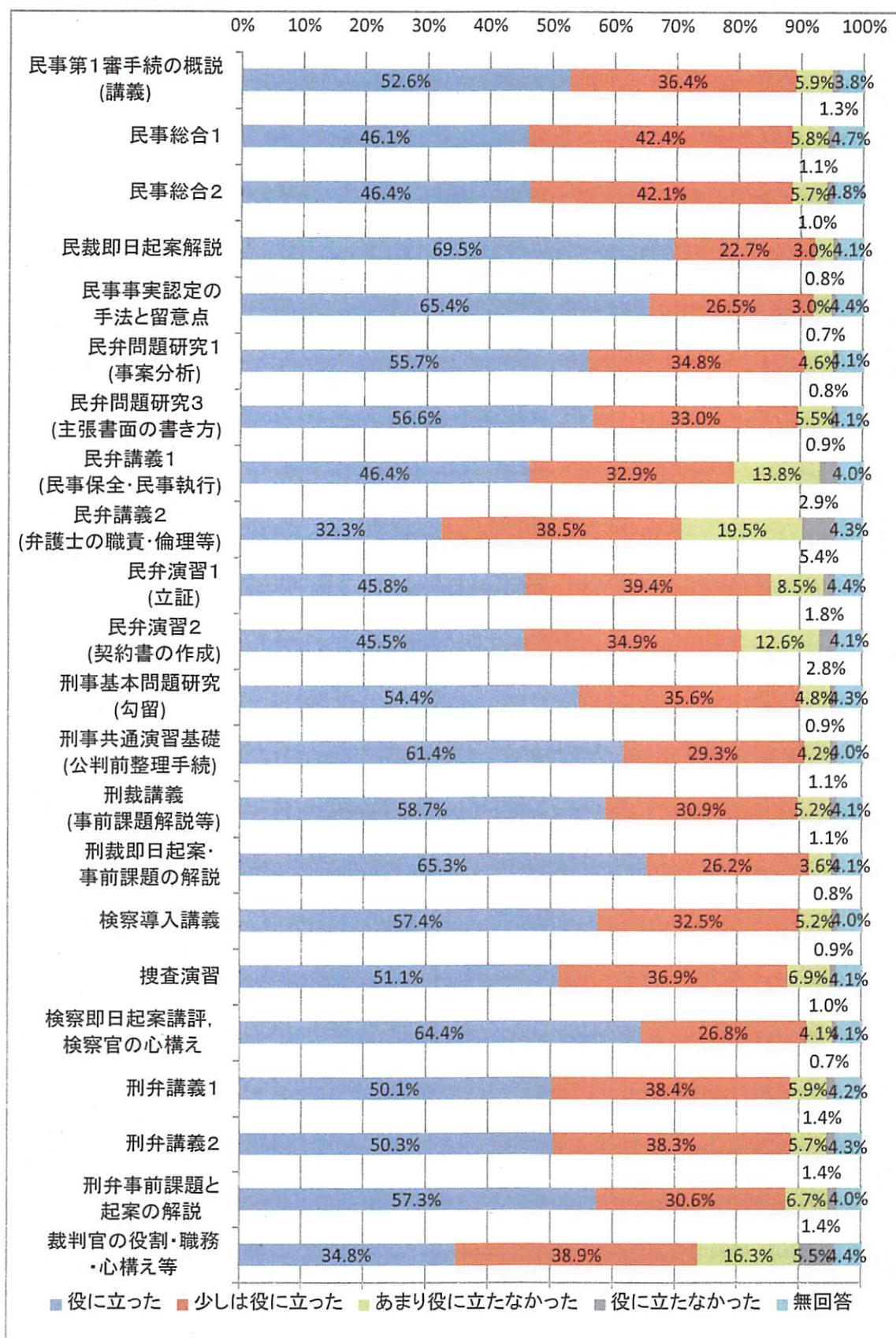
○ 導入修習のカリキュラムがどの程度役に立ったか【全体】

(図表2-1)

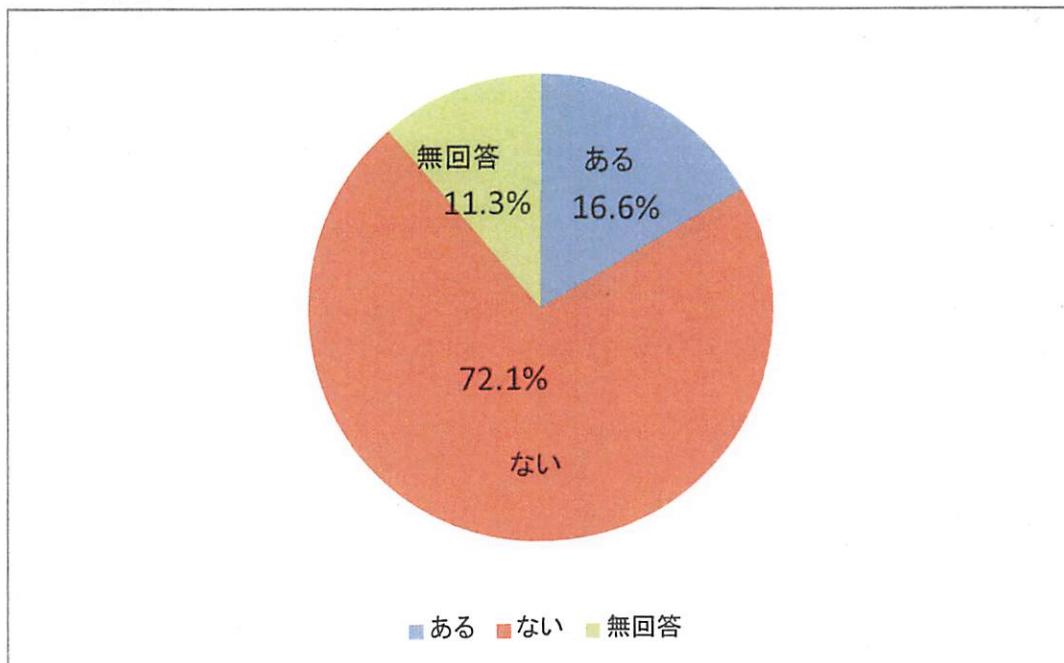
※ カリキュラムの中に「役に立たなかった」ものがあると答えた者の割合



○ 導入修習のカリキュラムがどの程度役に立ったか【項目別】
 (図表2-2)



- 分野別実務修習を円滑に行うため、導入修習の段階で学んでおきたかったことはあるか
(図表3)



【自由記載欄の回答状況】

- ・「ある」と答えた者のうち、95.7%(278人中266人)が回答(全回答者中15.8%)
- ・回答数(延べ人数)が多かった項目
 - ① 起案の書き方・手法 54人
 - ② 事実認定 33人
 - ③ 倒産法の知識 32人
 - ④ 民事執行・保全法の知識 23人
 - ⑤ 訴訟手続一般 19人